



令和2年度 サッカーキャンプ 誘致戦略推進事業

実施報告書
(概要版)

沖縄県

令和2年度 サッカーキャンプ 誘致戦略推進事業
実施報告書

目次

1. 概要
2. 決定状況
3. キャンプ地の情報発信について
4. サッカーキャンプ誘致における経済効果算出について
5. 総括

1. 概要

沖縄県におけるサッカーキャンプ誘致事業は本年度で11年目を迎えた。その間、各自治体・宿泊施設および関係団体との連動した受け入れ体制の構築、更には各グラウンドの芝の良質化を目的とした「芝人養成事業」、キャンプ受け入れグラウンド(市町村)を拡大しキャンプ実施クラブの増加を目的とした「受入市町村促進事業」の効果もあり、年々誘致チーム数は順調に伸び、一定の成果を出すことが出来た。

また近年は来場促進を目的とした「サッカーキャンプガイドブック」の発行や公式ホームページにおける多言語化対応など、情報発信にも力を入れることによりサッカーキャンプを通じて沖縄ブランドの新たな価値向上を図ってきた。

本年度は更なる誘致クラブ数の増加(令和元年度実績である*29クラブ以上の誘致実現)、情報発信の強化による沖縄県内への更なる観光客の増加(誘客)を目的とし事業を開始した。

*実際に前年度キャンプを実施したのは26クラブ。他の3クラブは実施調整済みだったが、新型コロナウイルスの影響により直前で来沖出来ず未実施となった。ここでは誘致調整が済んでいたクラブとして29クラブを令和元年度の実績として表記している。

誘致するクラブに関しては各市町村の意向も踏まえ、これまで例年沖縄でキャンプ実施をしているクラブから優先的にスケジュールを確認し新規クラブの誘致を目指した。

なお効率的、効果的なアプローチを図るべく、誘致活動を行うにあたり次のような優先順位を設けた。

1) 前年度（令和元年度）実施クラブ（国内）の確定

22クラブ（Jクラブ20、なでしこ2）の継続実施の確定

【国内クラブ】 22クラブ（J20クラブ+なでしこ2クラブ）		
FC東京	J1	11年目
サガン鳥栖	J1	11年目
ガンバ大阪	J1	8年目
ヴィッセル神戸	J1	7年目
川崎フロンターレ	J1	7年目
北海道コンサドーレ札幌	J1	7年目
浦和レッズ	J1	6年目
名古屋グランパス	J1	6年目
ベガルタ仙台	J1	4年目
横浜・F・マリノス	J1	4年目
ジェフユナイテッド市原・千葉	J2	11年目
水戸ホーリーホック	J2	7年目
大宮アルディージャ	J2	6年目
東京ヴェルディ	J2	6年目
京都サンガF.C.	J2	4年目
V・ファーレン長崎	J1	4年目
ファジアーノ岡山	J2	3年目
FC町田ゼルビア	J2	3年目
ギラヴァンツ北九州	J2	2年目
ヴァンラーレ八戸	J3	4年目
浦和レッズレディース	なでしこ	2年目
伊賀FCくノ一三重	なでしこ	2年目

2) その他Jクラブ

過去に沖縄キャンプを実施しながら、現在は行っていないJクラブに対し、沖縄サッカーキャンプの環境の変化、質の向上をプレゼンすることで再誘致を実現させる。キャンプ実施にあたって地元の子供達へのサッカー教室はもちろん、たくさんのメディアやサッカーファンなどに注目していただくよう海外クラブとのトレーニングマッチも実現出来るよう誘致交渉の段階でクラブ側にリクエストを出していく。

【国内クラブ】 具体的な誘致ターゲットクラブ（一部）		
サンフレッチェ広島	J1	9年ぶり4回目
柏レイソル	J1	新規実施
横浜FC	J1	7年ぶり4回目
松本山雅FC	J2	新規実施
*ジュビロ磐田	J2	新規実施

3) 海外クラブ

経済効果への寄与を見据え、希望宿泊期間の長いクラブなどをターゲットにする。また既存の中国や韓国クラブだけではなく、近年サッカー人気が高まっている東南アジアリーグのクラブや昨年度実施したブラジルのクラブなどを中心に誘致活動を行い、沖縄への観光客も視野に入れた誘致活動を展開する。

4) なでしこ（女子）クラブ

昨年度実施の2クラブを中心に誘致活動を展開。

Jリーグとは開幕時期も重なっていない為、具体的には2月下旬～3月頃の実施を目指す。

5) 大学チーム

関東及び関西の大学を中心に誘致。地元の大学チームも加えたカップ戦を開催。1～2月期のトッププロチームの実施が終わった3月ごろに開催することで、グラウンドの確保に伴う大会の実施、宿泊施設への経済効果の寄与へも貢献できるよう努める。

以上の点を踏まえ今回の誘致活動を取り組むにあたり、県内の受け入れ市町村や宿泊施設に加え、沖縄県サッカー協会や沖縄県スポーツ協会、海外クラブの窓口となる各仲介人（エージェント）等と情報共有を行いながら誘致活動を開始した。

しかしながら結果は前年度（令和元年度）を下回る26クラブの誘致に止まった。主に日本国内で拡大した新型コロナウイルス関連肺炎（以下「新型肺炎」という）の影響が大きく、海外クラブの誘致が出来なかった。新型肺炎による財政的な影響でこれまで実施していたクラブも沖縄キャンプを断念するなどのケースも見られた。

またキャンプ期間中も日本各地、そして沖縄県内において発出された緊急事態宣言により全クラブ・全日程を無観客で実施。例年キャンプを楽しみにしている県内外の方々にとってもトレーニングが見学出来ず寂しいキャンプシーズンとなった。

事務局の実務作業においても新型肺炎の影響は大きく、医療体制の受入整備はもちろん、実際にキャンプを実施したクラブの関係者から陽性者が発生し、予定されていたトレーニングマッチ（練習試合）が中止になるなど対応に追われた。

無観客開催が決まったことを受け、来場促進に繋げる目的で製作した「サッカーキャンプガイドブック」の配布自粛やホームページでの情報発信も自粛するなどの対応を行った。

2. 決定状況

令和2年度 沖縄サッカーキャンプ 実施一覧

1. FC 東京 (J1)

期間：1月25日～1月30日（1次キャンプ：6日間）

場所：かいぎんフィールド国頭

宿泊：オクマプライベートビーチ&リゾート（国頭村）

期間：1月31日～2月13日（2次キャンプ：14日間）

場所：糸満市西崎陸上競技場

宿泊：ロワジールホテル那覇（那覇市）

2. 横浜F・マリノス (J1)

期間：1月31日～2月8日（9日間）

場所：石垣市サッカーパークあかんま

宿泊：ANA インターコンチネンタル石垣リゾート（石垣市）

3. ガンバ大阪 (J1)

期間：2月1日～2月7日（1次キャンプ：7日間）

場所：中城村吉の浦公園ごさまる陸上競技場

宿泊：オキナワグランメールリゾート（沖縄市）

期間：2月8日～2月13日（2次キャンプ：6日間）

場所：南城市陸上競技場

宿泊：ユインチホテル南城（南城市）

4. 浦和レッズ (J1)

期間：1月25日～2月7日（14日間）

場所：金武町フットボールセンター

宿泊：ホテル ムーンビーチ（恩納村）

5. サガン鳥栖 (J1)

期間：1月25日～2月8日 (1次キャンプ：15日間)

場所：ZANPA プレミアム残波岬ボールパーク

宿泊：ロイヤルホテル沖縄残波岬 (読谷村)

期間：2月8日～2月13日 (2次キャンプ：6日間)

場所：八重瀬町東風平運動公園サッカー場

宿泊：ホテルグランビュウガーデン沖縄 (豊見城市)

6. ヴィッセル神戸 (J1)

期間：2月4日～2月13日 (10日間)

場所：タピック県総ひやごんスタジアム <2月4日～2月7日>

金武町フットボールセンター <2月8日～2月13日>

宿泊：ホテル モントレ沖縄スパ&リゾート (恩納村)

7. 名古屋グランパス (J1)

期間：1月30日～2月13日 (15日間)

場所：南風原町黄金森公園陸上競技場

宿泊：サザンビーチホテル&リゾート沖縄 (糸満市)

8. 川崎フロンターレ (J1)

期間：2月1日～2月7日 (1次キャンプ：7日間)

場所：恩納村赤間運動公園サッカー場

宿泊：シェラトン沖縄サンマリーナリゾート (恩納村)

期間：2月8日～2月14日 (2次キャンプ：7日間)

場所：中城村吉の浦公園ごさまる陸上競技場

宿泊：EM ウェルネスリゾート コスタビスタ沖縄ホテル&スパ (北中城村)

9. 北海道コンサドーレ札幌 (J1)

期間：1月18日～2月13日 (27日間)

場所：金武町陸上競技場

宿泊：リザンシーパークホテル谷茶ベイ (恩納村)

10. 湘南ベルマーレ (J1)

期間：1月25日～1月30日 (1次キャンプ：6日間)

場所：本部陸上競技場

宿泊：ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ (本部町)

期間：2月3日～2月13日 (2次キャンプ：11日間)

場所：うるま市具志川運動公園多種目球技場

宿泊：アンサ沖縄リゾート (うるま市)

11. ジェフユナイテッド市原・千葉 (J2)

期間：1月25日～2月7日 (14日間)

場所：南城市陸上競技場

宿泊：ユインチホテル南城 (南城市)

12. 大宮アルディージャ (J2)

期間：1月24日～1月29日 (1次キャンプ：6日間)

場所：タピック県総ひやごんスタジアム

宿泊：オキナワグランメールリゾート (沖縄市)

期間：1月29日～2月14日 (2次キャンプ：17日間)

場所：西原町民陸上競技場

宿泊：ノボテル沖縄那覇 (那覇市)

13. V・ファーレン長崎 (J2)
期間：1月23日～1月31日 (9日間)
場所：西原町民陸上競技場
宿泊：ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城 (那覇市)

14. 水戸ホーリーホック (J2)
期間：1月28日～2月7日 (11日間)
場所：豊見城総合運動公園陸上競技場
宿泊：メルキュールホテル沖縄那覇 (那覇市)

15. ファジアーノ岡山 (J2)
期間：1月23日～1月29日 (7日間)
場所：恩納村赤間運動公園サッカー場
宿泊：沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ (恩納村)

16. FC町田ゼルビア (J2)
期間：1月24日～2月2日 (10日間)
場所：うるま市具志川運動公園多種目球技場
宿泊：アンサ沖縄リゾート (うるま市)

17. 京都サンガF.C. (J2)
期間：1月26日～2月8日 (14日間)
場所：八重瀬町東風平運動公園サッカー場
宿泊：ホテルグランビュガーデン沖縄 (豊見城市)

18. ギラヴァンツ北九州 (J2)
期間：2月7日～2月14日 (8日間)
場所：豊見城総合運動公園陸上競技場
宿泊：メルキュールホテル沖縄那覇 (那覇市)

19. ザスパクサツ群馬 (J2)
期間：2月8日～2月13日 (6日間)
場所：恩納村赤間運動公園サッカー場
宿泊：沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ (恩納村)

20. ヴァンラーレ八戸 (J3)
期間：2月4日～2月14日 (11日間)
場所：本部町運動公園陸上競技場
宿泊：ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ (本部町)

21. 伊賀FCくノ一三重 (なでしこ1部)
期間：2月24日～2月28日 (5日間)
場所：恩納村赤間運動公園サッカー場
宿泊：沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ (恩納村)

22. 大阪体育大学 (関西学生リーグ)
期間：3月8日～3月12日 (5日間)
場所：金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター、西原町民陸上競技場
宿泊：オキナワ マリオットリゾート&スパ (名護市)

23. 流通経済大学 (関東学生リーグ)
期間：3月8日～3月12日 (5日間)
場所：金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター、西原町民陸上競技場
宿泊：オキナワグランメールリゾート (沖縄市)

24. 旭川大学 (北海道学生リーグ)
期間：3月6日～3月12日 (7日間)
場所：金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター、西原町民陸上競技場
宿泊：ホテル サザンビレッジ沖縄 (北中城村)

25. 四国学院大学（四国学生リーグ）

期間：3月8日～3月12日（5日間）

場所：金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター、西原町民陸上競技場

宿泊：EM ウェルネスリゾート コスタビスタ沖縄ホテル&スパ（北中城村）

26. 仙台大学（東北学生リーグ）

期間：3月8日～3月12日（5日間）

場所：金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター、西原町民陸上競技場

宿泊：クラウンホテル沖縄（沖縄市）

3. キャンプ地の情報発信について

□ サッカーキャンプ ガイドブックの作成

今年度も県内への誘客を目的とした「沖縄サッカーキャンプガイドブック 2021」を制作した。事前に各自治体の観光情報を取りまとめ、実施クラブ側にも協力いただき制作・納品まで至ったが、沖縄県により発出された緊急事態宣言の影響により、新型コロナウイルス対策の為、これまで配布を実施していたモノレール各駅、レンタカー協会加盟店舗、各コンビニエンスストアへの配布は自粛する形となった。

＝サッカーキャンプガイドブック＝
発行部数 50,000部



*左：今年度のガイドブック表紙デザイン。右：今年度は新型コロナウイルス対策情報を掲載。

□ WEBサイトでの対応

来場客の基本的な情報源となる「サッカーキャンプ公式サイト」。昨年度から要望の多かった「多言語化対応」を取り入れる等、強化を行なった。

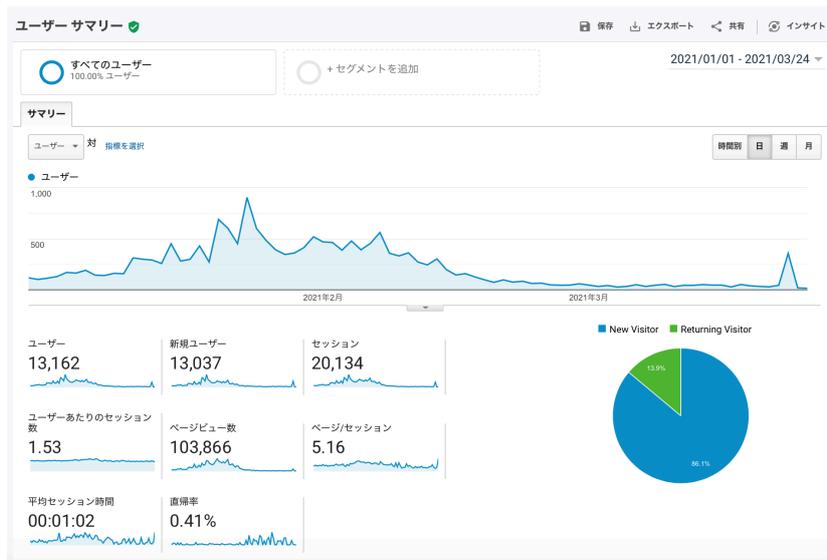
しかしながらガイドブック同様、緊急事態宣言の影響により会場への見学客を避けるため、今年度はトレーニングマッチの結果更新のみの対応となった。

各クラブ情報においても地元サポーターの来沖を抑えるため、キャンプ日程やキャンプ地情報の発信を控える等の対応を行なった。



□ サッカーキャンプ 公式サイトにおけるアクセス数

HP 閲覧状況について 2021 年 1 月 1 日～3 月 24 日までの統計、検証を行った。結果、13,162 人が閲覧、その内の 13,037 人が当サイトに新規でアクセスしたユーザーだった。データを見るとサッカーキャンプが本格的にスタートした 1 月中旬ごろから閲覧数が伸びているものの、やはり観戦のための情報発信が無いこと、昨年度は予め各インターネット・SNS 媒体において告知 PR などを行なってきたが今年度は自粛したことから日に日にアクセス数が減少していっていることがわかる。



4. サッカーキャンプ誘致における経済効果算出について

令和2年度サッカーキャンプの経済波及効果（速報値）

（沖縄サッカーキャンプ 2021）

経済効果はサッカーキャンプ誘致事業によるキャンプ関連支出とキャンプ見学観光客による2つの区分を設定したが、今年度事業は新型コロナ対策により、観光客はゼロ計上となった。

サッカーチーム誘致関連支出額		観光客による需要増加額	
	支出額(円)		支出額(円)
球団経費	280,590,000	宿泊費	0.0
その他消費	45,994,016	交通費	0.0
施設関連経費	47,955,000	土産・買物費	0.0
		飲食費	0.0
		娯楽・入場費	0.0
		その他	0.0
合計	374,539,016	合計	0.0

直接効果はサッカーチーム誘致に伴う宿泊費及び運営費、受入自治体事業費、施設整備等球場関連支出が約3億7,454万円、キャンプを見学を訪れた観光客による支出はゼロ円となるため、合わせて約3億7,454万円が直接効果となった。

以上の直接効果により、経済波及効果は以下の通りとなった。

単位：円

	キャンプ効果	観光効果	効果の合計:A	前年度の効果:B	A/B
直接効果	374,539,016	0	374,539,016	1,908,177,245	19.6
付加価値額	78,477,963	0	78,477,963	1,004,928,320	7.8
雇用者所得	37,673,261	0	37,673,261	546,360,055	6.9
域内需要増加額	170,523,659	0	170,523,659	588,288,755	29.0
1次効果	223,685,244	0	223,685,244	790,697,920	28.3
2次効果	59,328,614	0	59,328,614	657,647,727	9.0
総効果	657,552,874	0	657,552,874	3,556,522,892	18.5

サッカーキャンプによる経済効果は約6億5,755万円、観光客による経済波及効果はゼロである。前年度の効果に対して直接効果は19.6%、総効果は18.5%と2割を割り込む大きな落ち込みとなったものの、今回のコロナ禍において宿泊施設等にとっては一定程度の効果をもたらす結果となっている。

以上

5. 総括

令和2年度におけるサッカーキャンプは、やはり新型コロナウイルスの影響が大きく、関係団体による医療体制を含めた受け入れ体制の構築が課題となった。結果的には新型コロナウイルスの影響により海外クラブの誘致が出来ず、さらに無観客での開催という形になったものの26クラブに沖縄でキャンプを実施していただいた。

Jリーグの開幕日程の変更や他団体との重複、グラウンド、宿泊施設での新型コロナウイルス対策、また例年のように中体連や高体連、他のイベント団体主催の大会とも調整を行うなど事務局として対応に追われたが、無事に全クラブが日程を消化することが出来た。

新型コロナウイルスの影響が世論的にまだまだ終息が見えない中、今年度であがった課題は次年度以降の受け入れにも必ず発生することが予想される。

「サッカーキャンプ誘致戦略推進事業」が「誘致から誘客」へと大きな転換期を迎えてきている中、観光促進とクラブの充実したキャンプ実施の両方に加え、安心・安全な受け入れ環境を追い求めながら「沖縄サッカーキャンプ」を今後さらに拡大・発展させるためには、より関係者の方々の協力・連携、そしてそれぞれの立場における理解が必要になってくる。

今年度もキャンプの受け入れに尽力していただいた関係者の皆さま、そして沖縄サッカーキャンプの円滑な実施の為に協力していただいた各クラブの皆さまに感謝したい。

令和2年度 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業
実施報告書
(概要版)

発注者：沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

受託業者：サッカーキャンプ誘致戦略推進事業共同企業体

代表法人：沖縄S V株式会社
〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎 3-59 トヨプラ 311号

株式会社アドスタッフ博報堂
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル



 株式会社 アドスタッフ博報堂

令和3年3月発行



Sports Islands
OKINAWA